

臺灣在住支那人引揚ノ爲船繰調査ノ報道ニ關スル件

(八月九日
臺灣總督府報告)

本日(八月八日)附東日夕刊ニ臺灣在住支那人二萬五千ガ本國引揚ゲニ關シ船繰リ關係調査
中言爲ノ記事アル由ナル處本島ニ於テハ斯ル事實無之或ハ數日前駐本島支那領事ガ在京支那
大使宛萬一ノ場合華僑引揚ゲ用トシテ南京政府外交部ヨリ船ヲ回航サルルヤ否ヤヲ請訓シタ
ル聞込アリ之等ノ消息ガ誤マリ傳ヘラレタルニ非ズヤト思料セリ尙在住支那人ハ目下極メテ
平靜ニ有之



情報委員會八・一〇 情報第二號

同盟參考内報

上海九日發 (不發表)

一、淞滬警備司令部は左の如く發表した

『虹橋飛行場に於て支那側哨兵と日本側巡邏兵との間に衝突、相互に應戰、日本水兵一、
支那兵一即死した』

二、ロイテル通信 虹橋飛行場に隣接せる一英國人談

最近數日來日本人數名は飛行場附近を頻りにうろついてゐたが支那哨兵の爲め阻げられ
てゐた。九日午後五時頃一日本人運轉の自動車が日本人一名を(共に水兵に非ず)客席
に乗せ飛行場に入らんとせるため哨兵より發砲し一名即死、他の一名は逃亡した事件
あり支那側でも一名死亡又は負傷した尙該英人の姪(二名)は事件の爲めルビコン橋を
渡り市内に行くのに支那保安隊一名及び工部局員一名の保護を受けるを必要とした。彼
等は八時に至るも歸宅せぬ。工部局警察副總監エアーズは現場に行かんとして同橋の支
那保安隊に阻止せられ止むなく歸還した。

三、南京九日發

201

軍事委員會發表

抗日統一戰線の結成を内外に誇示し全國軍事首脳部を召致して國防會議を開催し全面的抗戰を決議せしめた軍事委員會は八日時局問題に對し左の如き見解を發表した。
『日本軍の大部隊は着々平津地方に配置されつゝある、同軍は津浦、平漢、平綏の三線に分れて保定、滄州、張家口方面に向つて大舉進攻せんとする體勢を示して居る、若し日本軍が進撃し來れば堅固なる防禦陣地に據つて待機中の我軍は之を迎撃すべし』

情報委員會八。九 情報第一〇號

一モスコイ放送（八日午後十一時半）（朝鮮遞信局聴取）



（佛語放送）

北平及天津タイムス提供

- 一、去ル二十九日支那軍ハ通州ノ日本軍攻撃ニ成功シタ。日本軍ハ此ノ攻撃ヲ全然豫想シナカッタ爲相當被害ヲ蒙ツタガ天津カラ救援部隊ガ到着支那軍ヲ撃退シタ。
- 一、日本軍ノ飛行機ガ天津ノ南開大學ヲ爆撃シタ、同大學ハ目下暑中休暇デ守衛シカキナカッタ
- 一、蔣介石ハ對日戰爭ニ備ヘテ近ク軍首脳部會議ヲ開クコトトナツタ
- 一、支那ノ學生青年軍少壯幹部ハ對日開戦チスルヤウ興奮ノ極度ニ達シテキル
- 一、上海デハ外人部隊志願兵ヲ募集シテキル
- 一、山東省蘇復軍ハ部下十萬ト豪語シ目下中立ヲ守ツテキルガ日本軍ガ青島ニ上陸スルヤウナコトニナレバ之ト衝突スルノ已ムナキニ至ルデアラウ
- 一、日本軍ハ動員令ヲ下シ約十三萬豫後備兵ヲ召集直ニ北支ニ派兵シタ。其ノ他軍需品輸送ノ爲多クノ船舶及トラックヲ徵發シ着々戰鬪準備ヲ進メテキル
- 一、今マデノ日本軍戦死者ハ約三百五十名デアアル